

令和 4 年 5 月 10 日

令和 3 年度 第 3 回 大阪市立常盤小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立常盤小学校

校長名 村上 昌志

日 時		令和 4 年 3 月 24 日（金）（資料送付による意見等の集約）			
場 所		大阪市立常盤小学校			
送 付 先	委員 など	中定 浩（会長） 高岡祥介（委員） 越野滋明（委員） 石井有美（委員） 嶋田峰典（委員） 大鳥真寛（委員） 西川雅代（委員） 春元奈緒美（委員）			
		土肥純平（委員） 蔭山純子（委員）			
	校 園	村上昌志（校長） 林真美子（副校長） 松本守隆（教頭） 中川敬吾（教務主任）			
	区役所				
議 題		（１） 令和 3 年度「運営に関する計画（最終評価）」について			
協 議 要 旨	協議の結果		意見の概要		
	(1)	<p>・ 取組内容及び達成状況について了承された。</p>	<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会の実現】の全市共通目標、学校の年度目標においては、B の「目標通りに達成した」とする。全市共通目標では、すべての項目で達成できた。</p> <p>一方、学校の年度目標である学校アンケートの「自分にはよいところがありますか」に対して、「いいえ」と答えた児童の割合が目標値を超え、達成できていない。以前から、高学年になるほど、自己肯定感や自己有用感が低い傾向はあるが、コロナ禍のなかで委員会活動やたてわり班活動など異学年・異クラスでの交流が制限され十分に活動できなかったことも一因と考える。</p> <p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】について、学校の年度目標のいずれの項目も指標を上回って達成できた。</p> <p>一方、全市共通目標の「大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。」においては、「いずれの学年も」という点において目標達成には至っていない。そのため、達成状況を B～C とした。</p> <p>コロナ禍で ICT 関連の取り組みが急速に進んだが、ハード・ソフトの両面で課題も見えてきている。連絡帳代わりに Teams を使うなど</p>		

			伝達ツールとしても有効に活用することができた。
		委員の方々からのご意見	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、学校が苦勞しながら取り組まれた状況、大変だったと思う。一日も早く、終息と子どもたちから「マスク」が外されることを祈念する。</p> <p>コロナ禍の中、様々な困難があったかと思われるが、少しずつできることが増えてきているのでは。</p> <p>児童の学びを止めない工夫や認知したいじめの解消など、成果を出されている。今後も、子どもたちが元気で深い学びの場となることを願う。</p>
会議資料	運営に関する計画（最終評価）		
備考	○ 傍聴者 〔0名〕		